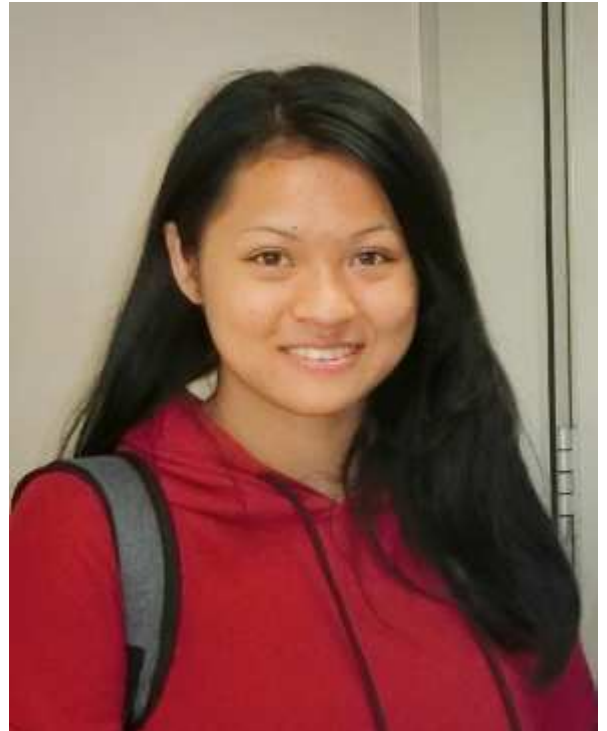


# イッチャ・バラミさん来日

一般財団法人麗澤海外開発協会では、2014年度より東南アジアからの留学生招聘事業を開始し、今年で5人目となり大きな成果を上げています。

2018年度は、10月4日にネパールの首都カトマンズから、イッチャ・バラミ (Iccha Balami) さんが来日し、麗澤大学別科日本語研修課程で1年間の日本語の研修を開始しました。

イッチャさんのご両親は、ネパール赤十字やRODAの支援によりネパールで最初の鍼灸医療の専門学校が、1993年に開校し1期生として入学し、3年間の課程を修了し優秀な成績で卒業され、お父さんのイスワルさんは、卒業後も同校にアシスタントとして残り学校の発展に寄与され、後進の育成や鍼灸



治療に使用するネパール産「もぐさ」の製造に尽力されました。また、カトマンズ市の中心部で鍼灸治療院を開業され、多くの患者に治療を行い貢献されています。その他、卒業生の協力を得て無医村が多いネパールで巡回治療を実施され、これまで、80ヶ村、15万名以上の患者の治療を行い、健康回復に寄与されています。

イッチャさんは、お父さんの活動の関係で、日本から支援者が多く訪問し、子供の頃から日本語を使う両親の姿を見て育ちました。そして、大きくなったら日本語を勉強して日本の大学に進学したいという思いが強くなりました。現在の目標は、N2そしてN1に合格して、日本の大学でバイオテクノロジーや栄養学を学びたいと考えています。そして、日本の知らないところを旅行したいと思っています。日本に到着して20日が過ぎましたが、ネパールは埃り多い場所が多いのですが、日本はどこへ行っても美しく、清潔です。これから1年間、しっかり日本語を勉強したいと思いますので、ご指導くださいますようお願いいたします。